

(昭和61年11月1日現在)

人口	21,601	(+37)
男	10,588	(+14)
女	11,013	(+23)
世帯数	6,660	(+11)
一人のうごき (10月中)	—	
転入	82人	転出 59人
出生	22人	死亡 8人



# まくべつ

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



## 最後の途別産新米の試食会

古くからの水田地帯である途別で11月3日に公民館まつりが開催され、地元でとれる最後の新米の試食会が行われました。

最盛期には250haあった水田も、今年水稻の作付けをしたのはわずか2ha。来年度からは全くなくなる見通して、参加者は最後の新米とあって1粒1粒をかみしめるように味わっていました。

# り返って

師走の街は慌ただしさを迎え、昭和61年も残すところあと少し。皆さんにとって、この1年はどんな年でしたか。私たちの町にもいろいろなことがありました。この1年を振り返ってみました。

ールオープン(4・26) ●大石忠夫さんが勲五等双光旭日章、戸田透さんが勲七等青色桐葉章を受彰(5・1) ●春の1日をエンジョイ、第2回芝桜まつりに3,000人(5・18) ●婦人の人生をより豊かにと婦人短期大学入学式(6・2) ●パークゴルフ俳句村コースオープン(6・29)



3,000人の人出でにぎわった第2回芝桜まつり

「つながったデー」に8,067人が参加し大成功。終了後には道警音楽隊のコンサートを開催(8・31) ●普及に一層のはずみ、幕別町パークゴルフ協会が設立(9・8) ●NHK公開録音「ひるの散歩道」に1,500人の聴衆(9・10) ●思いはふるさと幕別に、第2回札幌幕別会総会(9・22) ●100人の町民が参加して明野ヶ丘公園に5,500株の芝桜を植栽(9・27)



猛暑の中で行われたパークゴルフチャレンジ90大会



8,067人が参加した「つながったデー」

## 冬

1~3月

●防火の決意も新たに町消防団出初め式(1・7) ●町営明野ヶ丘スキー場がオープン(1・12) ●228人が大人の仲間入り、成人式(1・15) ●600人の聴衆を集めて第1回チャリティカラオケ大会の集い(2・1) ●西幕別青年会乳牛プロジェクトチームが全道農業者会議で優秀賞を受彰、東京での全国大会でも農林水産大臣賞を受彰(2・4) ●さわやかな歌声を披露、まくべつ混声合唱団結団式(2・7) ●寒さなんか吹き飛ばせと第4回冬まつり(2・8・9) ●国民宿舎幕別温泉ホテル利用客通算300万人を達成(2・15) ●800人が参加して第5回婦人まつり(3・2) ●町民が主体となって第9回明るいまちづくり住民大会(3・9) ●盛大に第1回子ども会対抗綱引き大会(3・15)

ユニークな催しに歓声が上がった  
第四回冬まつり



婦人の熱気があふれた第五回婦人まつり

# 今年を振

## '86 まくべつ



20,000人が実りの秋を満喫した第9回産業まつり

●一層の飛躍を誓い合い盛大に開基90年記念式典を開催。町花シバザクラ、スズラン、町木カシワ、町の鳥オオハクチョウを発表(10・1) ●秋の味覚と多彩な催しものを楽しもうと2万人が繰り出して第9回産業まつり(10・5) ●開町記念マラソン大会に306人が力走(10・10) ●530人が参加して子ども会の「ミステリー列車の旅」(10・12) ●国体で幕別

高校の鎌田芳彰君アーチェリー少年男子個人、団体ともに優勝(10・14) ●近代的な設備の葬斎場供用開始(11・1) ●盛大に第1回健康まつり(11・2.3) ●120人が出席して第3回東京幕別会総会(11・8) ●思いやりの心が広がった第5回ふれあい広場(11・16) ●札内と駒島の室内ゲートボール場オープン(11・22)

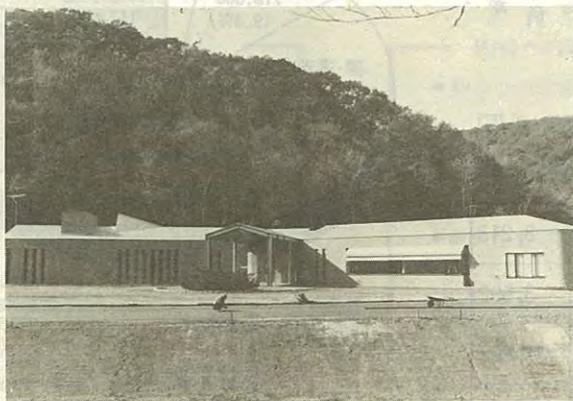
### 秋

10~12月



約四百人が出席し盛大に行われた開基九十年記念式典

近代的な設備を整えて十一月一日に供用開始した葬斎場



### 春

4~6月

●60人が参加してサケの稚魚放流式(4・6) ●新和小学校のシンボル、シラカバの大木が危険なため伐採(4・12) ●町乳牛検定組合が創立10周年を迎え記念式典(4・16) ●豆カップ待望の温水プ



途別川の吐月橋で行われたサケの稚魚放流式

●友好町の宮崎県東郷町から町長と青年代表らが来町(7・8) ●開拓の灯リレーに大キャンプファイヤー、そしてジャンボカレー、サマーカーニバル86(7・26.27) ●開基90年記念事業パークゴルフチャレンジ90大会に100人が参加(8・3) ●開基90年記念テレホンカード発売開始(8・7) ●幕別で初めての受精卵移植牛が出産(8・18) ●開基90年記念事業のメインイベント、交通安全キャンペーン



「火と水の祭典」をテーマに行われたサマーカーニバル'86

# 60年度決算の概要

## まちづくりに使ったお金

### 町民一人当たり35万円

昭和六十年年度の決算と、本年度の四月から九月までの上半期の執行状況がまとまりました。  
 六十年度は、町民一人当たり六万一千四百八十円を納めていただき、一人当たり三十五万三千六百十二円の仕事をいたしました。「財政」といいますと、「難しい数字はどうも」という方も多いと思いますが、この決算などの公表は、町民の皆さんに、町のお金がどのように使われ、運営されているかを理解してもらうことが目的です。私たちは二万一千六百一人の家計簿といえるものですので、よくご覧いただきたいと思っております。

## 一般会計

町に入ったお金(歳入)は、前年度より二億四千六百万一千円の増で、七十六億七千九百四十三万八千円に。仕事に使われたお金(歳出)は、前年度より二億五千八百八十八万八千円の増で、七十六億一千九百九十八万八千円でした。差し引き五千九百四十五万円の黒字となりました。そのうち財政調整基金に三千五百万円の積み立てをしましたので、実質繰越額は二千四百四十五万円となります。この決算額は、歳入、歳出とも五十九年度を上回りました。

## 歳入

図-1の歳入(財源の構成状況)を見てみますと、町民の皆さんが納めた町税は、全体の二七・三%となっています。町民一人当たり六万一千四百八十円の負担で、三十五万三千六百十二円の支出をしたことになり、町税収入の約六倍もの仕事をしたわけです。なぜ六倍もの仕事ができるのでしょうか。そのからくりは、地方交付税や補助金などの国や道からのお金や町債という借入金です。これらは「依存財源」といい、町税のように町が自分で集めて自主的に使えるお金を「自主財源」といいます。

## ●各会計別の決算

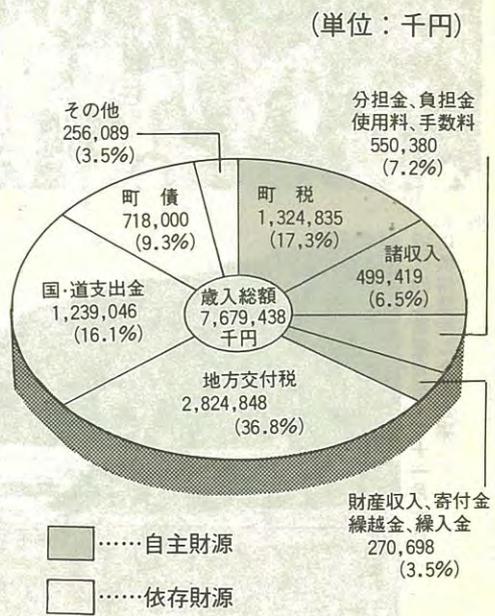
(単位：千円)

一般会計	7,679,438
特別会計	3,436,384
公営企業会計	542,375
	7,619,988
	3,377,491
	512,136

※各会計とも、グラフ上段が歳入、下段は歳出。

幕別町の自主財源は三四・五%で、残りの六五・五%は国や道、借入金などに依存しています。ここに地方財政の厳しさが見られます。もう一度、図-1を見て下さい。依存財源の中で地方交付税(二六・八%)に次いで国・道支出金が一六・一%を占めています。これは

## ●図-1 歳入(財源の構成状況)



事業の一部を負担するものですが、国・道の基準が低いため、町の負担が大きくなる場合があります。これを「超過負担」といい、主なものとして表-1のようなものがあります。  
 次いで、町債(九・三%)の多いのが目につきます。昭和六十年度で七億一千八百万円の借金をしたわけで、それ以前の借金を合わせますと、百十九億八千六百万円あまりの借金があります。(図-1)「こんなに借金があつて町の台所は大丈夫か?」と心配される方もある方もあるかもしれません。しかし、道路、学校、公園、上下水道などの建設は多額の経費が必要です。これらの施設は半永久的なものですから、将来、その恩恵を受ける町民にも建設費の一部を負担

## ●表-1 超過負担の主なもの

(単位：千円)

事業名	負担率	補助対象額	補助基本額	補助金額	超過負担額
農業委員会費	10%	18,720	18,720	10,507	8,213
肢体不自由児通園訓練施設費	10%	18,746	15,154	15,154	3,592
保育所運営費	70%	123,081	69,228	48,459	37,697
国民年金事務費	10%	20,789	12,214	12,214	8,575

してもらつてよいと考えられています。

● 町民1人当たりの納めたお金 ●

61,480円

町民税 (個人)	固定資産税	町たばこ 消費税	電気税	その他 (入場税等)
				
26,119円	21,637円	4,027円	2,680円	7,017円

● 町民1人当たりに使ったお金 ●

353,612円

教育費	土木費	公債費	農林業費	総務費
				
56,665円	62,723円	50,247円	54,154円	40,223円
民生費	消防費	衛生費	商工費	その他 (議会費等)
				
38,457円	14,476円	22,513円	6,868円	7,286円

住みよい町づくりに

- 公営住宅建設事業 62,735千円
- 曙(あけぼの)通街路事業 71,985千円
- 明野ヶ丘公園整備事業 41,382千円
- 幕別札内線道路改良舗装事業 79,800千円

豊かな町づくりに

- 道営土地改良事業負担金 292,060千円
- 農村総合整備モデル事業 113,969千円
- 新地域農業生産総合振興対策事業 228,530千円
- 新農業構造改善事業 24,945千円

明日への町づくりに

- 駒島小学校建設事業 299,628千円
- 札内東中学校屋体建設事業 229,684千円
- 教員住宅(共済)購入事業 62,165千円
- 学校施設整備事業 7,595千円

あたたかい町づくりに

- 相川南近隣センター建設事業 18,926千円
- 老人医療費助成 23,708千円
- 敬老祝い金 11,841千円
- 児童手当 38,231千円

歳出

図-11の歳出を  
下さい。目的別  
道を見ると、土  
道一七・七%で  
費一五・三%、  
総務費二一・四%、  
費一〇・九

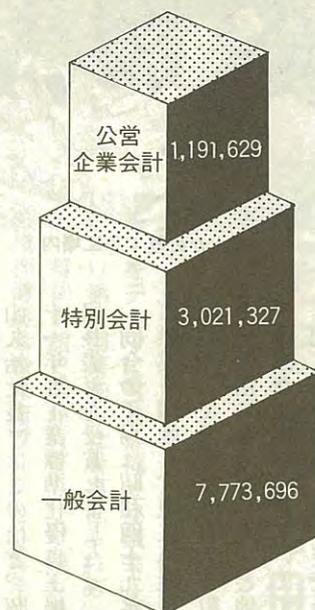
性的に返済をして  
性質別に分けます  
消費的経

図-12の歳出を  
下さい。目的別  
道を見ると、土  
道一七・七%で  
費一五・三%、  
総務費二一・四%、  
費一〇・九

性的に返済をして  
性質別に分けます  
消費的経

● 図-2 借入金現在の高

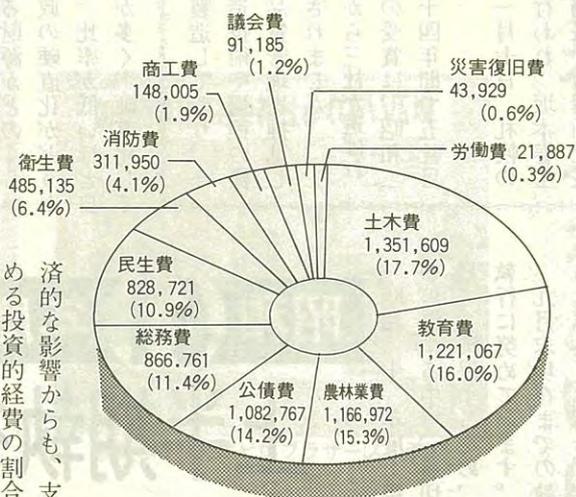
(単位:千円)



総額は119億8,665万2千円

● 図-3 歳出(目的別決算内訳)

(単位:千円)



六十年度に、町民の生活向上を  
図るために行われた主な事業は、  
次のとおりです。

望ましいのです。  
める投資的経費の割合が高いほど  
済的な影響からも、支出総額に占  
るために行われた主な事業は、  
次のとおりです。

費(人件費、物件費、補助費など)  
が五九・四%を占め、投資的経費

(普通建設事業)が四〇・六%とな  
っています。行政水準の向上や経

# 基金は

## 町の貯金です

基金は、皆さんの家庭の貯金と同じです。特定の目的のためにお金を積み立て「学校を建てる」「土地を取得する」「町の台所が苦しい」ときなどに使われます。

### ◆財政調整基金

町財政の長期にわたる健全な運営と、年度間の財政変動に備えて積み立てられ、町の台所が苦しくなると使われます。

### ◆教育施設建設基金

学校を建築する場合に使われます。

### ◆土地開発基金

公共の利益のために取得する必要がある土地を、購入するために使われます。

### ◆減債基金

町の借金を償還するために充てられます。

### ◆奨学資金積立基金

基金から生ずる収益を、奨学資金に充てられます。

### ◆国民健康保険基金

保険給付に要する費用が不足を

## ●基金の現在高

(単位：千円)

総額は11億6,942万3千円	
基金名	現在高
財政調整基金	770,000
教育施設建設基金	7,000
土地開発基金	146,000
減債基金	75,000
奨学資金積立基金	10,244
国民健康保険基金	138,760
その他	22,419

生じた場合に充てられます。

## 決算から見た

### 財政の健康診断

財政の健康状態を計る物差しに、「財政力指数」と「経常収支比率」、「公債費率」の三つがあります。この物差しで、幕別町の財政を見てみましょう。

#### ◇財政力指数

自治体の自主性の尺度で、指数が高いほど自まかないできるお金が多いことを意味します。本町の場合は三一・五％で、管内三番目に高い指数です。

#### ◇経常収支比率

自由に使える財源がどのくらいあるかで、財政の硬直化がどうかを判断します。比率が低いほど自由になるお金が多く、硬直化して

## 十勝葉山電器が通産局長表彰



160人が勤務する工場内

十勝葉山電器株式会社(明野・葉山久治社長)はこのほど、昭和六十一年度工業標準化優良工場通産局長表彰を受賞しました。同会の工場は昭和四十九年十月に操業を開始し、現在の従業員は百六十人そのうち百人が町内からの雇用になっているなど地域に根ざした工場になっています。同工場では差し込み接続器や小

型スイッチを製造しており、今回の受賞は製造技術や過程の標準化を進め、品質管理を推進したことが評価されました。今年には道内から三社が選ばれ、十勝管内企業の受賞は、昭和二十八年から三十四年間で五社目です。表彰式は十一月七日、札幌の共済ホールで行われ、坂本春生札幌通産産業局長から葉山社長に賞状が手渡されました。

# 昭和61年度 予算 上半期執行状況

9月30日現在

いないことを表します。本町は七八・三％で管内では低い方から六番目です。

#### ◇公債費比率

借金の返済に充てられるお金で、比率が高くなると財政運用が苦しくなり、借金が首が回らない状態になります。本町は一八・七％で管内では低い方から八番目です。

昭和六十一年度上半期は、景気の停滞の中で、適切な町民サービスを確認するため、予算の完全執行に努めています。九月末現在までの執行状況を見ると歳入では四三％、昭和五十九年度同期四三・四％、歳出では、四二・一％(昭和五十九年度同期三

科 目	予算現額	支出済額	執行率%
土木費	1,623,264	649,613	40.0
農林業費	1,098,629	264,751	24.1
教育費	826,024	402,151	48.7
公債費	1,189,869	572,010	48.1
民生費	1,199,369	526,287	43.9
議会・総務費	910,576	451,507	49.6
衛生費	368,362	185,678	50.4
消防費	321,583	156,245	48.6
商工費	246,612	111,862	45.4
労働費	17,194	11,869	69.0
その他	116,783	2,500	2.1
合計	7,918,265	3,334,473	42.1

科 目	予算現額	収入済額	執行率%
地方交付税	2,864,568	2,083,316	72.7
町税	1,360,102	706,653	52.0
国庫支出金	491,579	82,229	16.7
町債	802,600	—	—
諸収入	621,738	231,900	37.3
分担金・負担金	413,787	43,116	10.4
道支出金	537,761	442,934	8.0
譲与税・交付金	252,600	64,722	25.6
使用料・手数料	173,526	71,059	41.0
その他	400,004	77,507	19.4
合計	7,918,265	3,403,436	43.0

## 一般会計

(単位：千円)

八・一％)と、いずれも昨年度を上回る執行率となっています。なお、来年三月三十一日までに百％執行の見込みです。

# 広がった思いやりの心

## 第五回幕別町社会福祉ふれあい広場

「あたたかな思いやりの心で共に生きる地域社会づくりを」をテーマに町社会福祉協議会(長尾玉市会長)の主催により第五回幕別町社会福祉ふれあい広場が十一月十六日、町民会館で開かれました。開会式に続いて札幌市内の精神薄弱者療育施設・ノビロ青年の家施設長の橋文也さんが「精神薄弱者施設の現状と課題」と題して講演をした後、芸能発表が行われました。

また、施設作品展示即売会、バザー、福祉機器の展示などのほか、障害を持った方との話りの場も設けられ、会場を訪れた千人以上の人たちの間に思いやりの心が広がりました。



大にぎわいの福祉施設の展示即売会や1坪ショップ



芸能発表に登場した中国から(?)の手品師



講演する橋文也さん



感動を呼んだノビロブラザーズの演奏



同時に開催された写真展「つながったデー」



福祉の向上に貢献のあった方々に感謝状を渡す長尾会長



芸能発表で力強くソーラン節を踊る幕別小学校の児童



手話のボランティアも登場

# 身近な施設を見学

## 町づくり見学会



トレーニング室では実際に器具を使って軽く運動

昭和六十一年度の町づくり見学会が十月三十一日と十一月一日に行われ、合わせて八十人が参加し町づくりの現状を見学しました。  
この見学会は、町民の皆さんに施設を見ていただき、町づくりをより深く理解していただくというものです。参加者の中には町の施設とはいえ初めて訪れる場所も多く、どの人も熱心に説明を聞いていました。トレーニングセンターなど七カ所を見学したあと、林町長を囲んでの座談会も行われました。

### 1 農業者トレセン

— 錦町 —

町民の体力、健康づくりをねらいとして、昭和五十八年十月にオ

ープンしました。総事業費は約四億五千万円で、アリーナは千七十万平方メートルあり、バレーボールコートが二面、バドミントンコートが六面とれる広さです。

二階のトレーニング室には、約二十種類の体力づくり器具や体力測定機がそろっていて、日ごろの運動不足を解消しようと、毎日たくさんの方が汗を流しています。

昭和六十年度の延べ利用者は五万九千二百四十人で、一日平均百九十三人が利用しました。

開館時間は午前九時から午後九時までで、昼の十二時から午後一時までは使用できません。毎週火曜日が休館日です。利用する場合は、当日窓口で受け付けをしてご利用してください。必ず運動靴を履いて入館してください。

### 2 明野ヶ丘公園

— 明野 —

◆トレセン事務室 ☎54-2106  
この公園は日帰り利用を考えたレクリエーション施設として、また、町内の各種行事ができるレジヤ公園として整備を進めています。町の開基八十年記念事業として、昭和五十二年から十一年計画で造成が開始されました。

総面積二十五畝の中には、ミニアスレチック、野外ステージ、展望広場、芝生広場、給水施設、駐車場などがあります。また、昨年度は三千六百万円をかけて、サイ



葬斎場で係員から最新式の炉の説明を聞く参加者

### 3 葬斎場

— 豊岡 —

地域の環境の保全を考慮し排煙、臭

クルサーキットコース、サイクルモトクロスコースなども完成しました。  
「町民の手で公園のシンボルを作ろう」と、公園内のスキー場斜面に芝桜の植栽を五十八年から行っています。四年目の今年は九月二十七日に町民約百人が参加して五千五百株の芝桜を植栽しました。今年の五月十八日には第二回芝桜まつりも開催されました。来年の芝桜まつりのころには、白やピンクのかわいらしい花が咲き乱れ、来園者の目を楽しませてくれます。

まちづくり  
見て聞いて...



吉田 勝司さん  
(緑町9・66歳)

私たちの生活に一番身近な浄水場、浄化センターを見学し、職員の方からわかりやすく親切に説明を受け、納得すると共に安心しました。特にこれらの施設には、十数年の年月と数十億円という多額のお金が使われ、現在町が支払っている電気料も相当な額であるとのこと。

私たちが飲料水を自由に使い、台所の悪臭や便槽との同居から開放され、便利で快適な生活のできる源なのです。住み良い町づくりには、長い年月とたくさんのお金がかかるものと思いましたが、私たちができる範囲で協力したいものです。



長谷部アキノさん  
(文京町29・53歳)

五時間余りの日程で町の主だった施設を初めて見学しました。トレセンの広さはもとより、二階に設置された体力づくり器具に

気の完全燃焼設備を施しています。炉は最新式のもので三基あり、そのうち一つが通常のものより大きい炉になっています。

ソファアールやテーブルが整然と配置され、ゆったりとしたロビーに面して十五畳の休憩室が三室あります。

十一月一日から供用開始をしています。道から四千万円の補助金を受け、総額約二億円の事業費がかかりました。

## 4 浄化センター

—明野—

下水道は家庭の台所やふろなどの生活排水、あるいは工場排水などから私たちの地域を守り、快適な生活を営むために欠くことのできない施設の一つです。汚水をきれいな水に生まれ変わらせるため



生活排水の処理の過程を学んだ浄化センター

に一カ所に集め、生物化学的な処理を行うのが下水処理場です。

下水道事業は長い年月と巨額の費用を要しますが、五十年からスタートしたこの事業は全体の完成目標を六十五年度とし、総事業費は八十五億円に及びます。

一昨年五月から幕別市街地で供用が開始され、今年八月末現在で九百五十八戸が水洗化工事を終えています。これは処理区域内にある全戸数の六八%にあたります。

浄化センターは約三・一畝を有する敷地内に、管理本館や処理施設が設置されています。中央管理システムによって汚水処理を行うことのできる近代的な施設で、ここに集められた汚水は、高級処理がなされ猿別川に流されています。

## 5 浄水場

—猿別—

水道は健康で快適な生活をするために不可欠な施設です。

幕別町の水道は、昭和二十八年から給水が始まりました。その後四十八年から札内市街を含めた第一期拡張工事として、給水人口二万人の規模で着工し、五十年に給水が開始されました。現在、一万四千七百五十人の給水人口を有しています。水道普及率は八五%、幕別地区九八%、札内地区六五%で十五%が井戸などを利用していません。

水道料金は現在一ト当たり百八

十円ですが、実際には原価は、一ト当たり百九十二円となっています。水道普及率が低いことが一つの原因となっていますので、現在普及に努めています。



浄水工場では水がろ過されるようすを見学

## 6 豊岡ゴミ埋め立て地

—豊岡—

一般家庭から出される大型ゴミや、産業用廃棄物を埋め立てて処理する所として、昭和五十年に設置されました。一般家庭の燃えるゴミと燃えないゴミは帯広で処理しています。

六十年年度の年間ゴミ収集量は、四千二百三十二ト（燃えるゴミ三千二百五十一ト、燃えないゴミ九百八十一ト）にもなり、処理に約七千四百萬円の町費を使っています。一世帯当たりの年間処理量は六百六十八キログラムで、処理経費は約一万一千六百八十円です。

このようにゴミ処理にはたくさん町の町費が使われていますが、町衛生会では家庭用焼却炉のあつせ

んをしてゴミの減量化を図っています。

## 7 ふるさと館

—依田—

私たちの祖先が残したその時代の歴史を物語る品々を保存、展示することを目的に昭和五十四年十月七日にオープンしました。

館内には、町民の皆さんから無償で提供された昔の生活用品や各種農機具などの展示のほか、「きま



ふるさと館ではなつかしい生活用品などを見学

り小屋」と呼ばれる晩成社の小作人小屋や大型水槽が設置されています。大型水槽では、毎年サケの産卵、ふ化に取り組むなどユニークな活動を展開しています。

開館時間は午前十時から午後六時までで、毎週火曜日が休館日です。☎561-3117

は魅力あるものばかりです。二、三年後には札内にもできるとのことです。期待しております。

また、明野ヶ丘公園からのすばらしい眺め。町内ばかりでなく池田、十勝川温泉、木野高台と一望にでき、寒風のもたらほら咲いている芝桜の歓迎を受け、公園をあとに浄水場、葬斎場などをまわり幕別温泉で昼食。

林町長を囲んでの座談会では町の将来像がよくわかり、実り多い一日でした。



阿部 正男さん  
(南町74・56歳)

十勝晴れのさわやかな日に、町づくり見学会に参加し、身近にありながら訪れる事もなかった各施設をまわり、先端技術を導入した設備に感銘しました。

トレーニングセンターの種々の運動器具をぜひ活用したいと思えます。浄化センターの近代的な設備により、我々の日常生活が快適にすごせる事は関係者の陰の力の何ものでもありません。葬斎場は人生の終着駅にふさわしい建物の形と色合いは、シックな感覚で、内部の機械設備の仕組みはすばらしいものでした。わが町の発展と成果に満足した秋の一日でした。

（札内）と（駒島）の

屋内ゲートボール場オープン



あいずま まきよみ  
相沢真弓さん (19歳)  
千住284  
▼ナラサキリース(株) ▲  
来年はいい年になるよう期待

今年の4月からここに勤務しています。ようやく仕事に慣れてきたところですね。

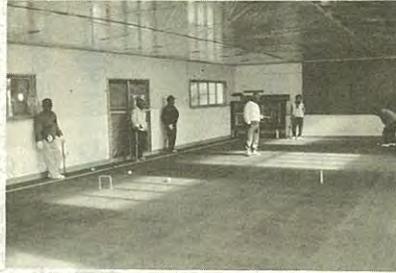
休日はドライブや中学生の時からやっている軟式テニスを楽しんでいます。今年の冬からはスキーにチャレンジしたいですね。

今年は自分にとってあまりいい事がなかったので、来年こそいい年であるように期待しています。

こんにちは (20)



材町長による始球式(札内)



早速プレーを楽しむお年寄り(駒島)

冬期間でもゲートボールを楽しめるようにと札内地区と駒島地区の老人健康増進センター(屋内ゲートボール場)が十一月二十二日、オープンしました。

札内地区は鉄骨造りで、面積は五百九十八平方メートル。正式のゲートボールコートが一面とれます。駒島地区は旧駒島中学校体育館を改修してつくられました。面積は二百三十平方メートル。両施設とも床面には全面に人工芝が張られています。二十二日のオープンは、午前十

時に札内、十一時半に駒島で行われました。林町長の始球式に続いてさっそく交流試合が行われ、初プレーを楽しんでいました。なお、幕別地区には来年度に建設の予定です。

盛大に健康まつり

町開基九十年を記念して第一回幕別町健康まつりが十一月二、三日の両日、農業者トレーニングセンターで開かれました。会場内には家庭用看護用品や減



人気を集めた自動血圧測定

塩食品、各種パネルの展示などのほか、コンピュータによる健康診断、血圧測定、体力測定や正しい歯磨き指導、栄養相談などが行われました。また、赤ちゃんによる「ハイハイ、ヨチヨチ競争」や生命の貯蓄体操なども繰り広げられるなど参加者は自分の健康をチェックしながら、さわやかな汗を流していました。

ふるさとへの便り... (9)

いえつねよりこ  
家常周子さん (43歳)  
(東京都町田市)



故郷の自然と

人が最高の宝物

高い空・十勝川と畑・大自然・二十四年間白人で育ちました。友だちと学校へ通った思い出は鮮明

にうかびます。しばれる朝二きの道のりは大変でした。そんな中で道産子魂が培われたのかもしれない。異国へ行く様な気持ちで故郷をあとにした事が懐かしく思い出されます。東京幕別会はとても楽しみにしています。懐かしい人にお会いできて、故郷が身近に感じられます。素顔のまままでふれ合える故郷の自然と人。私にとってこれ以上の宝物はありません。幕別の皆様のご健康と町のご発展を心からお祈り致します。(旧姓角さん。千住出身)

開基90年

まくべつタイムトンネルの場所今昔



昭和41年当時の札内橋。2車線で歩道もついていませんでした。



現在の札内橋。交通量の増大により昨年の11月に4車線になりました。

まくべつタイムトンネルの九回目は、札内橋の変遷を紹介します。



第2回交通遺児奨学資金チャリティー、藤間流舞踊歌謡ショーが11月23日、町民会館地下大ホールで行われました。会場には約6百人がつめかけ、緊張気味ながらも見事な舞や歌を披露する出演者に、おしめない拍手がおくられました。

見事な舞や歌を披露

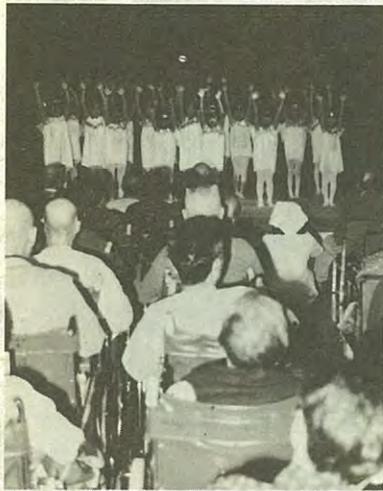
明倫の杉本峯夫さん(五七歳)が飼育しているホルスタインが十一月十一日、三つ子を出産しました。しかも三頭とも雌ばかりで、「双子は何度か産まれているが三つ子とは…」と語りながら長男の敏文さんと共に喜びいっぱい笑顔を見せていました。



メスばかりの3つ子誕生



札南小の児童が特養を慰問



札内南小学校児童会が十一月二十六日、特別養護老人ホーム札内寮を慰問し、遊戯や器楽演奏などを披露しました。この慰問、同校のボランティア活動の一環として行われたもので、お年寄りたちは児童の熱演に目を細めながら拍手をおくっていました。

今年の吹奏楽コンクール十勝地区予選(C編成の部)で金賞に輝いた幕別中学校吹奏楽部の第1回定期演奏会が町民会館で開かれました。交響詩「フィンランディア」など10曲を演奏し、満員の聴衆を魅了しました。



コンクール金賞の演奏を披露

町民みんなの関心事

良い子を育てるために ⑨

町児童生徒健全育成推進委員会

冬休みを契機に  
これだけの  
生活経験を

年が改まり、気持ち新たに新年のお正月は子どもたちに礼儀作法をしつける絶好の機会です。

近ごろの若者は礼儀を知らないといわれて久しいです。礼儀知らず、作法知らずは心の荒廃を示すもの。礼儀作法の根本は感謝、思いやり、謙虚さです。

古くさい、堅苦しいにとらえず、子どものうちに身につけさせたものです。

礼儀作法な社会生活をなめらかにする潤滑油です。世の中を明るく豊かにし、結局は子どもたちのしあわせにつながるものです。

礼儀作法の主なものを紹介しますので参考にしてください。

●あいさつ

① 来客にはかくれていないで「いらっしゃい」とあいさつする。

② 新年には「おめでとうございませう」とためらわずいう。

●対話・言葉づかい

① 話しかけられたら「ハイ」と返事をし、折り目正しく「です・ます体」で応待する。

② はきものはつま先を外に向けてそろえておく。

●食事

① 「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをはつきりいう。



② 訪問

① 家の人には「おじやまします」とあいさつする。



# ふるさと味の満喫

## 第三回東京幕別会総会

東京幕別会(野本弘会長)の第三回総会が十一月八日、東京都内の番町グリーンパレスで開かれました。

東京近郊の会員約三百人のうちこの日は八十四人が出席。地元から出席した、林町長、山崎町議長、木川商工会長、商工会員ら約二十人と旧交を温めました。総会では林町長の「町民の心意気

と団結により開基九十年事業のつなごうたデーが大成功になりました」との報告に大きな拍手がおこられました。

また、なつかしい町の風景やつなごうたデーのスライドでは場面が変わるたびに大きな声が上がっていました。

引き続き行われた懇親会では、会場に「幕別旅情」が流れるなか、商



なごやかに交流を深めた懇親パーティー

工会が持参した特産品試食コーナーに野菜やお菓子が並べられ、テーブルに出された幕別産のジャガ

## 21 功を奏した気分転換

# ひと

国体で優勝したアーチェリー少年男子の監督

はじめ元西出さん  
(南町・53歳)

山梨県で開催された第四十一回国民体育大会のアーチェリー少年男子の部で本道が個人(鎌田芳彰君、幕高)、団体ともに優勝しました。この少年男子チームの監督をつとめられたのが西出元さんです。

昭和五十五年の国体からアーチェリー競技が加わりましたが、それから今年まで六回北海道の少年男子チームの監督をさせていただきました。今年の目標は昨年並み(四位)か三位入賞でした。まさか優勝するとは。前日に選手を昇仙峡見物に連れて行って、気分転換を

させたのが功を奏したのかも知れませんね

「幕別町にはお年寄りの寿アーチェリークラブもありますし、毎年全道大会を開催するなどアーチェリーが大変盛んな町です。道内のアーチャー(アーチェリー愛好者)の間でも幕別町を知らない人はいませんね。町村で二カ所もアーチェリーレンジを持っているのは全国でも幕別町だけだと思います。自分なりにお手伝いさせていただいてここまできたのは大変うれいすね」

昭和八年富良野生まれ。四十年から幕別高校教諭。町アーチェリー協会事務局長など公職多数。

## 献眼登録千人達成

### 札内の川合さんに記念品

十一月二日、三日に行われた幕別健康まつりの中に、幕別ライオンズクラブ(金澤誠会長)が献眼登録コーナーを設けていましたが、十一月三日に眼球銀行帯広支部登録千人目を達成しました。千人目となったのは札内桜町の川合静枝さん(五七歳)で、金澤会長から「帯1000番」と記入された感謝状とともに記念品が贈られました。

健康まつり両日で新たに六十人が登録し、幕別町民だけで登録は二百人に達しました。



川合さん(右)に記念品を渡す金澤会長

会(野本弘会長)から八万四千円  
▽(株)朝日産業(斉藤修悦代表)から芝用肥料百袋

### 町社会福祉協議会へ:

▽竹本靖さん(軍岡)から五万円  
▽北原治さん(幸町)から一万円  
▽札内農協(山崎武雄組合長)から三万六千九百九十二円  
▽たんぼぼサークル(札内あかしや町)から一万円  
▽中村ハルさん(途別)から五万円  
▽橋本カソミさん(五位)から五万円  
▽森田徳三郎さん(札内桜町)から二万円  
▽塚本清さん(相川)から五十万円  
▽糠内中学校生徒徒会から七千六百八十五円

### 老人クラブへ:

▽沢崎愛子さん(札内春日町)から札内寿老人クラブへ五万円  
▽竹本靖さん(軍岡)から軍岡老人クラブへ五万円  
▽藤田春夫さん(宝町)から宝町宝寿クラブへ三万円  
▽中村ハルさん(途別)から途別老人クラブへ三万円  
▽上石ヤスノさん(弘和)から駒島老人クラブへ五万円  
▽塚本清さん(相川)から中央老人クラブへ五万円、相川西楽寿会へ二万円

### その他:

▽上石ヤスノさん(弘和)から南幕別新生活改善推進委員会へ一万円

## 「寄付ありがとうございました」

### 町へ:

▽MOA帯広十勝支部から十八万七千八百八十四円  
▽東京幕別

(十月二十一日〜十一月十七日分)  
※訂正—先月号の表紙で「町内に来春、小学一年生になるのは二百四人」とあったのは「二百四人」の誤りでした。おわびして訂正します。